

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	農園芸の振興	担当部署名	市民生活部地域活性課	担当課長名	東 勇輔
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	植木産業活性化イベント事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	1061	1	
財務会計上の事業名	さつき展開催事業	財務会計上の短縮番号	4100		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の対象 【誰(何)を】	池田市さつき展
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	開催(展示紹介及び即売会)
事業の目的 【どのような結果を得るか】	市花である「さつきつつじ」を広く市民に知っていただくと共に、栽培技術の普及及び市民緑化の推進と地場産業のPRを目的とする。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成24年度 <input type="checkbox"/> 未 実施
※見直し内容を記入	委託料の増額
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
事業費(千円)	78		128		128		128		100.0%	
人件費(人・千円)	0.15	1,200	0.15	1,170	0.16	1,248	0.16	1,248	106.7%	
事業 内 訳	正職員	0.15	1,200	0.15	1,170	0.16	1,248	0.16	1,248	106.7%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	1,278		1,298		1,376		1,376		106.0%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		1,278		1,298		1,376		1,376	106.0%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	入場者数	人	1050	1200	1200	1200	1200
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	盆栽出展数	点	53	51	51	55	55
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	市民イベントとして定着している。

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	東山早月会と委託契約を締結し、イベント開催における準備、PR、設営、片付け等を委託している。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
さつき盆栽の展示、即売会共に市民イベントとして定着している。市民が市花であるさつきつつじに触れる数少ない機会であり、市外に向けての植木産業のPRの場としても有用である。今後も事業を継続するとともに、広報活動に注力することで市民イベントとしてよりいっそうの充実を目指す。	さつき盆栽の展示会や即売会を実施することで、市花である「さつきつつじ」と細河植木産業のPRに貢献している。近隣市町からの来場者も徐々に増えつつあり、事業継続により更なる来場者獲得を目指す。

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	農園芸の振興	担当部署名	市民生活部地域活性化課	担当課長名	東 勇輔
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	農業経営支援事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	1062	1	
財務会計上の事業名	農業経営支援事業	財務会計上の短縮番号	4120		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の対象 【誰(何)を】	各農業実行組合及び池田市生産者組合
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	有機肥料及び野菜結束テープの購入補助
事業の目的 【どのような結果を得るか】	安心・安全な野菜の生産推進及び出荷野菜のPRと規格統一による地産地消推進
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和54年度 ~) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成23年度 <input type="checkbox"/> 未 実施
※見直し内容を記入	補助金額の減額
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	池田市農業振興事業補助金交付要綱

2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
事業費(千円)	698		686		699		700		101.9%	
人件費(人・千円)	0.20	1,600	0.20	1,560	0.21	1,638	0.21	1,638	105.0%	
事業 内 訳	正職員	0.20	1,600	0.20	1,560	0.21	1,638	0.21	1,638	105.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	2,298		2,246		2,337		2,338		104.1%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	2,298		2,246		2,337		2,338		104.1%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	有機肥料等購入費助成額	千円	698	686	699	700	700
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	有機農業及び地産地消を推進するため。

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	市は補助金を各農業実行組合に対して支出しているため、アウトソーシングの余地が無いものと考えられる。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
各農業実行組合、生産者組合に対して有機肥料及び野菜結束テープの購入補助を行う。農地地力を保持すると共に、地産地消を推進するため、有機農業の啓発と池田市産野菜のPRを続ける。	有機肥料の購入助成を行うことで、土壌改良、地力の保持に対する支援を行うもので希望者も多い。有機野菜に対する消費者のニーズは拡大傾向にあり、今後も事業を継続することで安心・安全な野菜の出荷を支援する。

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	農園芸の振興	担当部署名	市民生活部地域活性課	担当課長名	東 勇輔
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	生産調整推進対策事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	1062	2	
財務会計上の事業名	生産調整推進対策事業	財務会計上の短縮番号	4050		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の対象 【誰(何)を】	田を持つ市内農家
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	国の行う経営所得安定対策に対する申請手続きのサポート並びにヒエ種を配布
事業の目的 【どのような結果を得るか】	経営所得安定対策の円滑な実施並びに遊休農地化の防止
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未 実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	直接支払推進事業実施要綱

2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	476		484		476		587		98.3%
人件費(人・千円)	0.30	2,400	0.30	2,340	0.26	2,028	0.31	2,418	86.7%	
事業 内 訳	正職員	0.30	2,400	0.30	2,340	0.26	2,028	0.31	2,418	86.7%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支 出 合 計 A	2,876		2,824		2,504		3,005		88.7%	
財 源	国・府支出金	457		452		422		500		93.4%
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	2,419		2,372		2,082		2,505		87.8%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ヒエ種配布数	袋	34	57	36	50	50
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	経営所得安定対策(旧戸別所得補償)申請者数	人	46	40	32	35	40
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	よりきめ細やかなサポートを行うことで申請者数の拡大を進める。(事前説明会時、申請後のフォローなど)

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	事業実施主体は市町村もしくは地域農業再生協議会と定められている。(要綱第2の2)

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
国の実施する経営所得安定対策の推進活動を行う事業である。近年では申請手続きの煩雑化や交付金額の減額により、申請者が減少傾向にあるが、農家の所得確保、農業従事者人口の維持・拡大を達成するべく、本事業を継続する。	国の行う生産調整事業に併せて、ヒエ種(緑化用ソルゴー)を配布し、調整水田の遊休農地化を防ぐと共に、地力保持・土壌改良を支援する。事業費を精査しながら継続する。

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	農園芸の振興	担当部署名	市民生活部地域活性課	担当課長名	東 勇輔
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	鳥獣被害対策事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	1062	3	
財務会計上の事業名	鳥獣被害対策事業	財務会計上の短縮番号	4095		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の対象 【誰(何)を】	農作物に被害を与える有害鳥獣(イノシシ・シカ・アライグマ等)
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	捕獲・殺処分
事業の目的 【どのような結果を得るか】	農作物への被害を抑える
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成23年度 <input type="checkbox"/> 未 実施
※見直し内容を記入	捕獲鳥獣の増加に伴い、猟友会池田支部への報償金を増額
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
事業費(千円)	906		871		847		1,082		97.2%	
人件費(人・千円)	0.40	3,200	0.40	3,120	0.41	3,198	0.31	2,418	102.5%	
事業 内 訳	正職員	0.40	3,200	0.40	3,120	0.41	3,198	0.31	2,418	102.5%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	4,106		3,991		4,045		3,500		101.4%	
財 源	国・府支出金	85		100		79		80		79.0%
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	4,021		3,891		3,966		3,420		101.9%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	捕獲頭数(イノシシ、シカ、アライグマ)	頭	67	66	81	30	30
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	猟友会池田支部への報償金額	千円	470	470	470	470	470
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	シカ進入防止網の配布	枚	449	375	292	300	300
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	大阪府全域で有害鳥獣被害が増加しているものの、池田市では現在の事業により、一定の被害防止効果が見られるため。

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	市内で捕獲されたアライグマの搬送(捕獲場所→大阪府処理施設→葬祭場)をいけだサンシー(株)に委託。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
鳥獣による農作物への被害は全国的に増加傾向にあり、池田市市内でのイノシシ、シカの捕獲頭数も増加している。昨年は市街地で市民がイノシシに襲われる事案も発生しており、鳥獣対策は予断を許さない状態であると考えられる。本事業を継続するとともに、関係各課と協議の上、今後の対応を検討していく。また、住宅地におけるアライグマによる人的被害も発生しており、農園芸にとどまらない、全体的な対応について検討する必要がある。	植木・水稲・野菜・果樹などの農作物への被害を防ぐため、捕獲檻の貸し出しや猟友会への助成を行う。近年有害鳥獣による被害エリアが細河・五月山周辺から市街地にも拡大しつつあるため、猟友会池田支部との連携のもと対応していく。

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	農園芸の振興	担当部署名	市民生活部地域活性課	担当課長名	東 勇輔
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	農業用施設管理事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	1062	4	
財務会計上の事業名	農業用施設管理事業	財務会計上の短縮番号	4205		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の対象 【誰(何)を】	灌漑用水ポンプ等の農業用施設
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	維持管理(修繕・電気料金支払)
事業の目的 【どのような結果を得るか】	安定した農業用水の確保を図る
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和48年度 ~) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未 実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	大阪府耕地事業補助金交付要綱、池田市農業振興事業補助金交付要綱他

2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
事業費(千円)	1,357		5,763		1,245		7,245		21.6%	
人件費(人・千円)	0.10	800	0.10	780	0.11	858	0.11	858	110.0%	
事業 内 訳	正職員	0.10	800	0.10	780	0.11	858	0.11	858	110.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	2,157		6,543		2,103		8,103		32.1%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源		87		545		66		5,600	12.1%
	一般財源		2,070		5,998		2,037		2,503	34.0%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	ポンプ等電気代	千円	1,294	1,314	1,114	1,680	1,680
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	水利組合への指導	回	2	2	2	2	2
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	各水利組合と連携し、農業用水の安定した供給が行われている。

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	灌漑用水ポンプ(市内6箇所)の保守点検を(株)森川鑿泉工業所に委託している。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
各水利組合と連携・協力し、適正な管理が行われている。灌漑用水ポンプや池田井堰について、今後施設の老朽化により修繕・改修が発生する可能性があるため、水利組合と協議の上、使用・管理の適正化に努める。	各水利組合と連携・協力し、適正な管理が行われている。引続きポンプや堰の修繕・改修工事について精査すると共に、適切な補助を行っていく。本年4月からの電気料金値上により、電気代が増加するため、使用期間についても水利組合と協議する。